

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援コチュカ		
○保護者評価実施期間	令和6年12月23日		～ 令和7年1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年1月18日		～ 令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パーテーションを使って小分けされている個室と小集団の部屋とがある為、個別と小集団の支援がやりやすい環境となっている。小集団の活動に入るのが難しい利用児についても個別の部屋でまずは事業所や職員に慣れてもらいながら小集団の様子を見て貰い、ゆっくりと集団の輪に慣れさせてあげる事ができる。	支援の時間は短くなってしまいが午前と午後の部に分ける事で曜日に拘らず年齢や支援の内容を合わせた集団活動が行えています。	隙間時間に職員が読める療育に関係したコラム等を定期的に発信し、支援の質の向上に繋がれたらと思っています。支援の記録同様、事業所のLINEや、保護者の方も読めるように事業所内にファイルして相談室に置いてあります。
2	基本は保育士、児童指導員の職員のみ雇用をしているが、外部講師として月に数回若しくは週に数回、OT、ST、CPIに来てもらい活動の様子を見て貰い職員にアドバイスを貰ったり、ツールを使った検査等も行っている。年数回ではあるが現在利用中の児童に合わせた研修等も行い支援の質の向上に繋がっています。	スプレッドシートを活用した記録を行う事で職員がいつでも記録を自分の端末から確認できるようになりました。児童の担当の職員が休みの日は前以てやってもらう支援内容を伝えるようにしていますが、記録を確認しやすくしたことによって支援を一定して別の人間でも行ったり反省を活かす事がしやすくなりました。	
3	午前と午後に分ける事で同じ時間帯に来所する児童数を少なめに調整できるので一人一人の児童に対し職員も一人ずつ支援を行う事ができる。また保育園等を利用している児童は園の活動にも参加し、その後の時間にコチュカを利用して貰う事ができます。	連絡帳をその日利用した方たちに送ってはいるが、静止画や動画で支援の様子が分かりやすく保護者の方たちも安心していただけるようにしています。	

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ベアトレやベアプロを行える職員がいない事。ベアトレの研修は受けて貰ったがもっと時間をかけて習得して貰わないと実際に行うのは難しいのではないかとと思われる。	年間を通して行わなくてはならない研修等が多く、療育のスキルを上げる為の研修を開く事が難しくなっている。必ず全員に行わなくてははいけない研修を受けてもらうには非常勤の職員などは特に別日にそれぞれで受けて貰う事もあり、児童が急に休みになった日等に受けて貰う等しているが不安が残る。	優先順に研修動画のリスト化や資料を分かりやすく綴じ、必須ではない物については急なお休みがでた時に職員に見て貰えるようにしているが、できればグループでみて検討会をするなどの質の高い研修にする必要があるのではないかと考える。
2			
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援コチュカ

公表日 令和7年2月12日

20名 利用児童数 令和6年12月1日

回収数 20名

	チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	0	0	0	・定期的に物の配置等が変わっているのでもっとより良くなるよう考えているんだなと思う。 ・小集団や個別の配慮十分です。	・バーションを使っての劇や、小集団活動のスペース作りの他に子ども達の動線等を考えて配置換えを行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	0	0	・誰と話しても子どもの様子が分かる。 ・1対1で安心	・できる限り小集団と個別での支援ができるように職員配置をしております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0	・茶や幼稚園の様子をよく話を聞いて貰える語りごと等をすぐ解決に向かうように協力してもらえ。 ・個別で受けられるので本人の得意不得意を伸ばしていると実感します。 ・先生達の専門性のレベルが年々上がってきていると感じます。どんな時でも“人と比べて”という話し方をされない、とても雇用できると感じるポイントです。	・月に数回作業療法士、言語療法士、臨床心理士にきてもらい、子ども達の様子や活動でのアドバイスを貰うようにしております。月に1回の職員の研修や療育のコラムを定期的に出し職員のスキルアップに繋げております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	11	1	2	6	・幼稚園の先生とも情報を共有してくれていると思います。	・保育所との合同活動等はありませんが公共施設を利用するなどして地域の子とも達と触れ合う時間を設けています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	1	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	0	0	0	・常にできていると思います。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	0	0	1	・常にできていると思います。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	0	0	0	・常にできていると思います。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	15	2	1	2	・保護者会があったが、きょうだい同士の交流はなかったです。 ・保護者同士の交流機会はあるが、きょうだい向けの支援があるかよいなと思いました。 ・保護者同士の交流はもううけていたがきょうだい向けのイベントは特になかった。	・今年度は第一回目という事もあり、保護者の方たちの横のつながりを増やす事を目的とした懇親会と言う形で開催させていただきました。来年度の保護者会はまた違った形でイベントを企画できたらと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	0	0	1	・SNSで様子が見れるのが嬉しい。	・週の前日や季節行事等のお知らせを定期的に行わせてもらっています。自己評価の結果を公表した時には毎年お知らせをしております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	2		個人情報の取扱いについての同意書を通き、虐待等に関しては保護者を利用し外部に流出しないようにしております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	3		マニュアル等はホームページへの掲載と相談室でいつでも見られるようにしてあります。契約時と年に一度マニュアルがホームページに記載してあることをお知らせしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	0	0	5		定期的に火災時、水害時、地震の避難訓練を行っています。ただ午前のはじめ、午後の部で分けて行っています。全児童が参加できてはいないので支援の時間にどうやっていくか課題の1つです。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	0	0	0	・コチュカさんでの活動が良い刺激になっていて少しずつ表現が豊かになってきています。いつもありがとうございます。	今後も職員のスキルアップをすることで子供たちも保護者の皆様も安心して利用できる事業所になれるように働いていきますのでよろしくお願いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・いつも子供だけでなく、私たちの事まで考えてくださり、本当に沢山のおサポートをいただいております。大変満足しています。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援コチュカ		公表日 令和7年2月12日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		小集団、個別での支援が行える部屋をパーティション等を使う事で作り、定員も午前	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		午前と午後で定員を分け、必要人員配置より職員を多めに配置をする事で、個別支援等ができるようにしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スケジューリングや、どこの部屋で活動があるか等を部屋ごとにカードで分かり易い様にする等しています。	バリアフリーの課題があるが建物が賃貸の為難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃を行っています。児童の特性やその日の支援に合わせて部屋割りを変える等の工夫をしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		小集団、個別支援を行う部屋等を疑似的にパーティションを使い作っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		小集団活動でのねらいなどを話し合う時間が持ちにくいWBに書いて置き周知するようにしている、振り返りはその日の内に行うようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に一度保護者の方々にご協力いただき業務改善に繋がるようにしております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に全体ミーティングを行い児童の事だけではなく業務がスムーズに行えるようにしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		事業所の方でも定期的に研修を行い、また他事業所から定期的研修のお誘いがあるので行かせてもらい、職員のスキルアップに繋げさせてもらっています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		昨年8月より公開をしています。	自己評価するまでの期間支援プログラムを公表している事を利用者にお伝えできていませんでした。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		定期的にツールを使ったアセスメントや言語聴覚士や臨床心理士にも検査を行ってもらうなどしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		通常時から集団と個別の時間を設けているが児童に合わせて超小集団や個別の時間を増やす等しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		必ず難しいがWBを利用し動きやねらいの確認を行えるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		送迎後の時間に振り返りの時間を設け、児童の様子だけでなく次回行う場合の気を付けるポイントや難易度の調整等を話しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録を電子化し、職員が見返し易いようにし、どの職員が支援しても支援方法にばらつきがでないようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		必要だと感じた場合は職員間で話し合い、保護者の方にも同意を得て支援計画を練り上げて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童の担当職員が参画できるようにシフト調整を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に情報を頂いたり、支援の中で気になった事等も確認し情報の共有を行うようになっています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		集団生活に向けての支援や、併行利用する際のアドバイス、悩み相談等を行っています。また利用する事になった際には児童の支援内容などの情報共有に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		感染症などに配慮しつつ、活動の中で地域交流の日を設けたり、公共の場を利用し外部の児童との関りの時間を設定等している。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時だけでなく連絡帳やLINE、定期的なアセスメントを通して共有しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ペアプロ、ペアトレは行ってないが今年度は保護者を集めた情報交換会と普段の支援に使う道具やご自宅でも利用できそうな道具とその利用方法を提供する場を設けた。契約時に説明をさせていただいています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は第一回目という事もあり、保護者の方たちの横のつながりを増やす事を目的とした懇親会と言う形で開催させていただきました。来年度の保護者会はまた違った形でのイベントを企画できたらと思います。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎日の連絡帳と一週間の集団活動の予定表、行事予定や緊急時の連絡等がしやすい仕組み作りやインスタ等でも活動の様子を発信しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書棚を利用する。ネットに関してもネットセキュリティを委託しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童には絵カード等、保護者の方には見返せるようにLINE等で連絡したことが残る物を利用する等しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		招待はしていないが、地域のお店や、施設と連絡を取り合いイベント行事の時に訪問し子供たちの関りの場を設定しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		登録時の説明の時と年に一度ホームページで公開している事と事業所内でも見れる所に配置してあります。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		確認し職員間で周知すると共に目につきやすい日報書等にも記載しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		専用のお皿類を使用する。おやつを保管する箱等にアレルギーを持つ児童の情報を記載した紙を貼る等しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練時等に実際に災害時に送る予定の全体LINEを試しに送る等しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を行い、ケース会議や実際の支援での様子を振り返って対応に間違いがなかったかの検討を行っています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				